

令和2年度版

家庭学習のてびき



～自分で学習に取り組むことができるためのアドバイス～

沼ノ端小学校の教育目標

進んでよく考える子ども(知)
力を合わせてやりぬく子ども(徳)
健康で明るい子ども(体)

せいかつ 生活せいかつづくりの3つの基本きほん

げんき 「元気なあいさつ」
はやね はや お 朝あさごはん」
すす がくしゅう 「進んで学習」

苫小牧市立沼ノ端小学校

苫小牧市立沼ノ端小学校

家庭学習の手引き (保護者の皆様へ)

沼ノ端小学校では、子どもたちの学力向上に取り組んでいます。よりよい成果をあげるためには、学校での学習に加え、家庭での学習の習慣化が大切になります。保護者の皆様のお力添えをいただきながら子どもたちに確かな学力を育てていきたいと思っております。ご協力をお願いします。

家庭学習の目的は？



① 学習の習慣化

学年が進むにつれて高度になる学習内容を確実に身に付けるためには、低学年のうちから毎日家庭でも机に向かう習慣をつけることが大切です。

② 学習したことの定着・習熟

「計算」や「漢字」、「音読」などを確実に身に付けるためには、繰り返し練習することが大切です。また、「もっと速く正確にできるようになりたい。」という習熟の意識や「もっと調べてみたい。」といった意欲も家庭学習への取り組みでより育まれることが期待できます。

③ 自分で学ぼうとする意欲の育成

学校で学んだことをきっかけに、「できた」、「楽しかった」という思いを子どもたちは抱きます。家庭学習に取り組むことで、そういう「学ぶ喜び」がより蓄積され、次への学びの意欲につながります。

時間の目安は？

| | |
|-------|----------|
| <低学年> | 20～30分程度 |
| <中学年> | 40～50分程度 |
| <高学年> | 60～70分程度 |

家庭での学習時間は個人差がありますから上の時間は目安です。お子さんの学習の様子を見ながら、その子に合った時間を決めるとよいでしょう。【10分×学年+10分】【目標をもつ】

また、学年が進むにつれて取り組むべき適切な時間と内容を自分で決めてできるようにさせていきたいものです。【自己調整学習】

ご家庭ではこのようなかかわりを

家庭学習を応援する

- がんばりを認める
- できたことをほめる
- 次に向けて励ます
- 子どもと向き合う

習慣化のため

- ・ルール作りとチェックを
- ・マナー化を防ぐ
- ・できない日も認める
(毎日が望ましいが…)

学習しやすい環境づくり

- 家庭学習に取り組む時間を話し合って決めましょう
- 学習する場所(部屋、居間)を整えましょう
- テレビやゲームなどを消して、静かな環境を確保しましょう
(テレビやゲームなどの時間も親子でしっかり話し合しましょう)

子どもたちのがんばりを 見つけて! 認めて! ほめて!

苫小牧市立沼ノ端小学校

かていがくしゅう てび
家庭学習の手引き (1・2年生)

がっこうでべんきょうしたことを、もういちどおうちでもたしかめてみると、あしたのべんきょうが、もっとたのしくなります。まいにち、おうちでもおべんきょうをしましょう。

ちから み つ
1. こんな力を身に付けたいですね

1年生

- ひらがな・かたかながよめて たくさんかける。
- 80じの かんじがぜんぶよめ 70じいじょうの かんじが かける。
- 「て・に・を・は」を たくさんつけて ぶんが かける。
- たしざん・ひきざんが できる。
- えんぴつを たくさんもって じが かける。

2年生

- ゆっくり たくさん ぶんがよめる。
- 160じの かんじがよめ、そのうちの8わり (130じいじょう) のかんじが かける。
- じゅんじょよく おはなしすることができる。
- ひっさんで けいさんが できる。かけざんの九九が すらすらいえる。
- きめられたながさのせんを じょうぎをつけて たくさんひける。

かていがくしゅう
2. 家庭学習をするときには



- はじめに つくえのうえを かたづけましょう。
- べんきょうちゅうは テレビやゲームを けいしましょう。
- 20~30ぶんかん がんばって べんきょうしましょう。
【10ぶん×がくねん+10ぶん】1年生20ぶん、2年生30ぶん

がくしゅう
3. こんな学習をしてみましょう

☆ テストやプリントで まちがったところを もういちど やいなおしましょう。

- **「おんどく」**
 - こえにだして すらすらと よめるように しましょう。
 - よむれんしゅうを おうちのひとに きいてもらいましょう。
- **「もじ」のれんしゅう**
 - ひらがな・かたかな・かんじを たくさん かけるように しましょう。
 - じのかたち・かきじゅん・よみかた・おくりがなにも きをつけて きましょう。
 - かいたものを おうちのひとに みてもらいましょう。
- **「さんすう」のふくしゅう**
 - そのひに がくしゅうしたことを ふくしゅうしましょう。
 - しき・ひっさん・こたえを かい て たくさん はやく けいさん できるように しましょう。
- **「にっき」をかこう**
 - そのひの にっきを かい て ぶんを かく しゅうかんを つけよう。

苫小牧市立沼ノ端小学校

いちにち かていがくしゅう なが
一日の家庭学習の流れ (1・2年生) ねんせい

けてぶれ^{がく}学しゅうのやりかた

しゅくだいが出ているときは、さいしょにしゅくだいをやりましょう。

かならずやろう!

① ひづけ・かいし^じ時^かこく^かを書く

じぶん^{まな}まな^きの^きろく^ををのこせるようにしっかり書きましょう。

② 「け^{けい}」^{かく}計画^{けい}：自分^{じぶん}にひつよう^{おも}だ^{がく}と思う^{かんが}学しゅう^{かんが}を考えよう

「テストがある」「〇〇が知りたい」「今日^{きょう}学校^{がっこう}でよくわからなかった」など
どんな^{がく}学しゅう^ををすると自分^{じぶん}がレベルアップ^{かんが}できるか考えましょう。

③ 「て^て」^てテスト：もんだい^{まる}をと^{まる}き、丸つけ^{まる}をしよう

やりっぱなしにせず、ただ^{ただ}しく^{まる}丸つけ^{まる}をしましょう。
自分^{じぶん}のまちがいに^きづけることも自分^{じぶん}の「たからもの」になりますよ。

ここまでは、できるようになろう!!

④ 「ぶ^ぶ」^{ぶん}分せき^{ぶん}：まちがえ^りた理^{かんが}ゆう^{かんが}を考えよう

「どうしてまちがえたのか」を^{かんが}えて^{ぶん}文^{かんが}しょう^かで書いてみましょう。
ぜん^{ぜん}ぶ^{せい}正^{せい}か^いいできたらとにかく自分^{じぶん}をほめてみましょう!

⑤ 「れ^れ」^{れん}れんしゅう^{れん}：くりかえし^くと^くり^く組み^{かん}かん^{へき}にしよう

まちがえたもんだい^ををもう一度^とといてかん^{へき}ぺきにしましょう。
「て」でぜん^{ぜん}ぶ^{せい}正^{せい}か^いいできていたら、レベルアップ^{した}もんだい^ををといてみましょう。

かならずやろう!

⑥ しゅう^じりょう^か時^かこく^かを書く

1年生^{ねんせい}は20分^{ぶん}、2年生^{ねんせい}は30分^{ぶん}以上^{ぶんいじょう}できましたか?

ここまでできれば、学力アップまちがいなし!!!

苫小牧市立沼ノ端小学校

家庭学習の手引き (3・4年生)

家庭学習は、学校で学んだことをもういちどふりかえり、たしかな学力を身につけるための学習です。毎日コツコツつづけることが、あなたの生きる力を高めます。

さあ、できることからつづけていきましょう。

1. こんな力を身に付けたいですね

3年生

- ① ならうかん字をすべて読み、8わりのかん字を書ける。
- ② 国語じてんを正しく使える。
- ③ しゅ語とじゅつ語を正しく使って、文を書くことができる。
- ④ たし算・ひき算の筆算、かけ算、わり算ができる。
- ⑤ コンパスを上手に使える。

4年生

- ① 習うかん字をすべて読み、8割のかん字を書ける。
- ② 言葉のつながりを考えて文章を書くことができる。
- ③ わり算の筆算ができる。
- ④ 平行四辺形やひし形を作図できる。
- ⑤ 分度器を正しく使える。 ⑦ローマ字を正しく書ける。
- ⑥ 47都道府県の位置がわかる。



2. 家庭学習をするときには



- 学習をはじめる時こくをきめて取り組みましょう。
- 学習するときは、テレビをけしましょう。
- 毎日40~50分学習しましょう。【10分×学年+10分】

3. こんな学習をしてみましょう

☆テストやプリントで まちがったところを もういちど やりなおしましょう。

【国語】

- ① 教科書を音読しよう。
(お家の人に聞いてもらおう)
- ② くふうしながらかん字の練習をしよう。(短文づくりなど)
- ③ じてんで意味を調べよう。
- ④ 気に入った詩をノートにうつそう。

【算数】

- ① 学校でならったことをふくしゅうしよう。
- ② テストでまちがった問題をもういちどやってみよう。
- ③ みのまわりにあるものの長さや重さ、かさ、角度などをはかってみよう。

【社会・理科】

- ① 地図記号をおぼえよう。
- ② 47都道府県をおぼえよう。
- ③ こん虫や植物のかんさつをしよう。

【その他】

- ① 日記・五七五をつづけて書こう。
- ② いろいろな種類の本を読もう。
- ③ 身のまわりのものをスケッチしてみよう。
- ④ リコーダーの練習をしてみよう。

てい しゅう なが 一日の家庭学習の流れ (3・4年生)

しゅう ほう けてぶれ学習の方法

しゅくだい
宿題が出ているときは、最初に宿題をしっかりと組みましょう。

① づけ かいし とき ① 日付・開始時刻を書く

自分の学びの記録を残せるようにしっかり書きましょう。

② 「け」計画：自分に必要だと思ふ学習を考えよう

「テストが近い」「〇〇に興味がある」「今日学校でよくわからなかった」など
どんな学習をすると自分がレベルアップできるか考えましょう。

③ 「て」テスト：問題を解き、丸つけをしよう

やりっぱなしにせず、正しく丸つけをしましょう。
自分のまちがいに気付けることも自分の宝物になりますよ。

④ 「ぶ」分せき：まちがえた理由を考えよう

「どうしてまちがえたのか」を考えて文章で書いてみましょう。
全問正解できたらかたく自分をほめてみましょう！

⑤ 「れ」練習：くり返し取り組み完ぺきにしよう

まちがえた問題をもう一度解いて完ぺきにしましょう。
「て」で全問正解できていたら、レベルアップした問題を解いてみましょう。

⑥ しゅうりょう とき ⑥ 終了時刻を書く

学年の目標時間を達成することはできましたか？

ふくしゅう よ しら
復習 + 予習・調べ学習

自分から学ぶ自分なりの学びを！

ここまでできれば、学力アップまちがいなし!!!

苫小牧市立沼ノ端小学校

家庭学習の手引き（5・6年生）

家庭学習は、学習した分だけあなたの力になるのです。毎日コツコツ
つづけることが、あなたの生きる力を高めます。

さあ、できることから始めていきましょう。

1. こんな力を身に付けたいですね

5年生

- ・ 5年生で習う漢字が全て読め、8割書ける。
- ・ 教科書の音読がすらすらできる。
- ・ 整数や小数の $+$ $-$ \times \div ができる。
- ・ 分数の $+$ ができる。
- ・ 辞典や図鑑を使って調べることができる。
- ・ パソコンでローマ字入力ができる。



6年生

- ・ 小学校で習う漢字が全て読め、8割書ける。
- ・ 文章の内容をおさえながら、音読ができる。
- ・ 整数や小数、分数の $+$ $-$ \times \div ができる。
- ・ 辞典や図鑑を使って調べることができる。
- ・ パソコンでローマ字入力ができる。
- ・ 自分で課題を決めて学習できる。



2. 家庭学習をするときには

- ・ 机の上をきれいにかたづけしてから学習しましょう。
- ・ 毎日60～70分間学習しましょう。【10分×学年+10分】
- ・ テレビを消し、集中して学習しましょう。
- ・ よい姿勢で学習しましょう。

3. こんな学習をしてみましょう

☆テストやプリントでまちがった所をもう一度やり直しましょう☆

【国語】

- ・ 漢字の書き順や字の形を意識して、きれいに練習しましょう。
- ・ 作文や日記を書きましょう。
- ・ 辞典を使って、言葉の意味や使い方を調べましょう。
- ・ 教科書を声に出して。読みましょう。

【算数】

- ・ くり返し練習して、速く正確に計算できるようになりましょう。
- ・ 文章問題は、声に出して問題を読んだり、簡単な図にかいたりして考えましょう。
- ・ 自分でまるつけ（赤鉛筆）をし、まちがっていたらもう一度やり直しましょう。

【社会・理科】

- ・ ニュースや新聞を見て内容をまとめたり、自分の意見を書いたりしましょう。
- ・ 地図帳で地名を覚えたり、歴史の年表を作ったりしましょう。
- ・ 自然や生き物の観察記録をかいたり、実験の手順や結果をまとめたりしましょう。

【その他】

- ・ 興味をもったことや疑問に思ったことを調べましょう。

一日の家庭学習の流れ (5・6年生)

けてぶれ学習の方法

宿題が出ているときは、最初に宿題をしっかりと取り組みましょう。

①日付・開始時刻を書く

自分の学びの記録を残せるようにしっかり書きましょう。

②「**け**」計画：自分に必要だと思う学習を考えよう

「テストが近い」「〇〇に興味がある」「今日学校でよくわからなかった」などどんな学習をすると自分がレベルアップできるか考えましょう。

③「**て**」テスト：問題を解き、丸つけをしよう

やりっぱなしにせず、正しく丸つけをしましょう。
自分のまちがいに気付けることも自分の宝物になりますよ。

④「**ぶ**」分せき：まちがえた理由を考えよう

「どうしてまちがえたのか」を考えて文章で書いてみましょう。
全問正解できたらとにかく自分をほめてみましょう！

⑤「**れ**」練習：くり返し取り組み完ぺきにしよう

まちがえた問題をもう一度解いて完ぺきにしましょう。
「て」で全問正解できていたら、レベルアップした問題を解いてみましょう。

⑥終了時刻を書く

学年の目標時間を達成することはできましたか？

復習＋予習・調べ学習

自分から学ぶ自分なりの学びを！